



「食事を自分で食べる」を助ける道具について

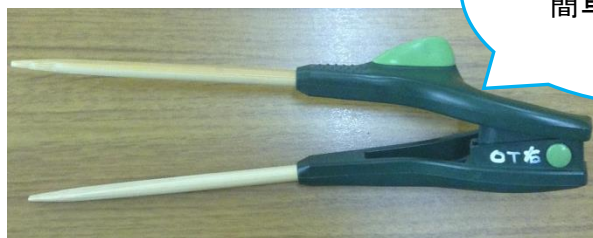
私たち作業療法士は主に日常生活動作(食事、トイレ、着替え等)を中心に、ご自身で行えるような訓練・援助をしています。その中でも食事は生きていく中で重要です。食事を摂取していく上での姿勢や、手の不自由な方への手の訓練や道具を使用し、円滑に動作が出来るよう援助しています。自助具の一部を簡単にご紹介します。

～箸～

①らくらく箸



②箸ぞうくん(左右あり)



箸が使いづらい方におすすめです！簡単に握むことができます。

～スプーン・フォーク～



スポンジを付けることで持ちやすくなります！スポンジの太さの種類もいくつかあるので調整可能です。

柄の部分握ることが出来ない方におすすめです。



先が曲がっていることにより、口元にまで運びやすくなります。

～滑り止めマット～



食器がずれて食べにくい方の食器の下に敷きます。食べている時の、食器のズレを防ぎます。



わからないことがあれば、是非作業療法士にご相談下さい。ご自分に合った自助具を見つけ、食事を楽しい時間へ戻せるよう、お手伝いします。

第22回 岐阜南NST研究会報告

1月24日(木) 18:00~20:00 南館1階 MGHホール



特別講演

「静脈栄養・経腸栄養
—その正しい適応と管理方法について—」

大阪大学国際医工情報センター
栄養デバイス未来医工学共同研究部門
特任教授 井上 善文 先生

NST、栄養管理関連において、より有効な栄養デバイス等の開発とともに、正しい臨床栄養の普及の活動を行っている先生です。

ちょうど10年前、当研究会で特別講演していただいたご縁もあり、再度、当院での講演を快諾いただき、今回の特別講演となりました。

小テストを資料として配布し、その答え合わせを行いながら、現在の静脈栄養・経腸栄養について、また、すぐに実践できる内容や考え方などのご講演でした。



☆井上先生を囲んでの記念撮影☆

お知らせ

第9回 院内NST研修会 南館1階FMGHホール

2月13日(水) 17:30~18:30

摂食嚥下: 摂食・嚥下障害看護認定看護師



どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方ならどなたでもご参加下さい！！